

まちの ほっと ニュース

TOWADA
My Town Topics

このコーナーは市内のさまざまな出来事を紹介するコーナーです。

最新鋭放射線治療機「トモセラピー」や手術場を見学 市立中央病院を県内高校生が視察見学

県教育庁と健康福祉部は、8月19日と20日の両日、将来の医師確保の一環として、県内8医療機関で「医療・医師とのふれあい体験事業」を実施しました。

市立中央病院には、8月20日、八戸高校、八戸北高校の生徒20人が訪れ、白衣や手術着をまとった生徒たちが、最新鋭放射線治療機「トモセラピー」や手術室などの医療現場を見学し、「大変な仕事だが、将来医師になりたい」と夢をふくらませていました。



手術着をまとい手術現場を見学



透析センターの治療現場を見学

桜並木の保護に樹皮堆肥100袋を 官庁街通りのサクラを守る会が寄附

8月18日、市民団体「官庁街通りのサクラを守る会」が、市に樹皮堆肥100袋を寄附。大柳泰光会長と山谷隆夫理事が市役所を訪れ「官庁街通りの桜並木の保護に役立ててほしい」と小山田久市長に目録を手渡しました。小山田市長は「皆さんの活動に感謝します」と活動をねぎらいました。同会は平成15年10月1日に発足され、樹木の剪定や害虫の駆除などを行っています。



市長に目録を手渡す大柳会長（中）

育英資金に役立ててほしいと 十和田青友会が市に寄附

青森銀行十和田支店の後援会組織「十和田青友会」（桜田裕幸会長）が、市に同支店開設110周年を記念して実施された納涼パーティーのチャリティー募金101,84円を寄附しました。8月19日に市役所で、桜田会長と小山内秀喜支店長が小山田久市長に目録を手渡しました。

桜田会長は「これからも地域に貢献したい」と話していました。



左から小山内支店長、桜田会長、市長

奥入瀬川クリーン対策協議会が県知事表彰受賞 長年の河川環境美化活動などが評価

8月25日、上北地域県民局で青森県河川環境美化活動等の表彰式が行われ、奥入瀬川クリーン対策協議会（畑山親弘会長）が今年度1団体のみの県知事表彰を受賞しました。本協議会は、昭和59年に設立され、26年間にわたる清掃活動や、環境美化をテーマに標語の募集、パネル展示、植樹などの活動が評価されました。



表彰を受ける畑山協議会会長

市民大学講座で、大町桂月さんの足跡を 大町芳章さんを講師に迎えて

9月2日、十和田湖公民館で大町芳章さんを講師に市民大学講座が開催されました。講演では「大町桂月という人」と題し、明治の文豪として知られる大町桂月の旅への想いや青森県で過ごした様子を話してくれました。

今年は、大町桂月生誕140年の節目の年。参加者は十和田湖観光の礎を築いた大町桂月の生涯について学びました。



講演をする大町芳章さん